



追加型投信 / 内外 / 債券

# 世界プレミア企業債券ファンド(為替ヘッジあり)

〈愛称:プレミア・コレクション〉

## ポートフォリオ構築のお知らせ

ファンド情報提供資料 / データ基準日2016年2月12日

※本資料は「世界プレミア企業債券ファンド(為替ヘッジあり)〈愛称:プレミア・コレクション〉」のポートフォリオ構築を投資家のみなさまにお知らせするために足下の市場環境とポートフォリオの状況および今後の見通し・運用方針について記載したものです。このため、ファンドの商品性・リスクなどについては投資信託説明書(交付目論見書)をご確認いただく必要があります。

平素は「世界プレミア企業債券ファンド(為替ヘッジあり)〈愛称:プレミア・コレクション〉」をご愛顧賜り、厚く御礼申し上げます。

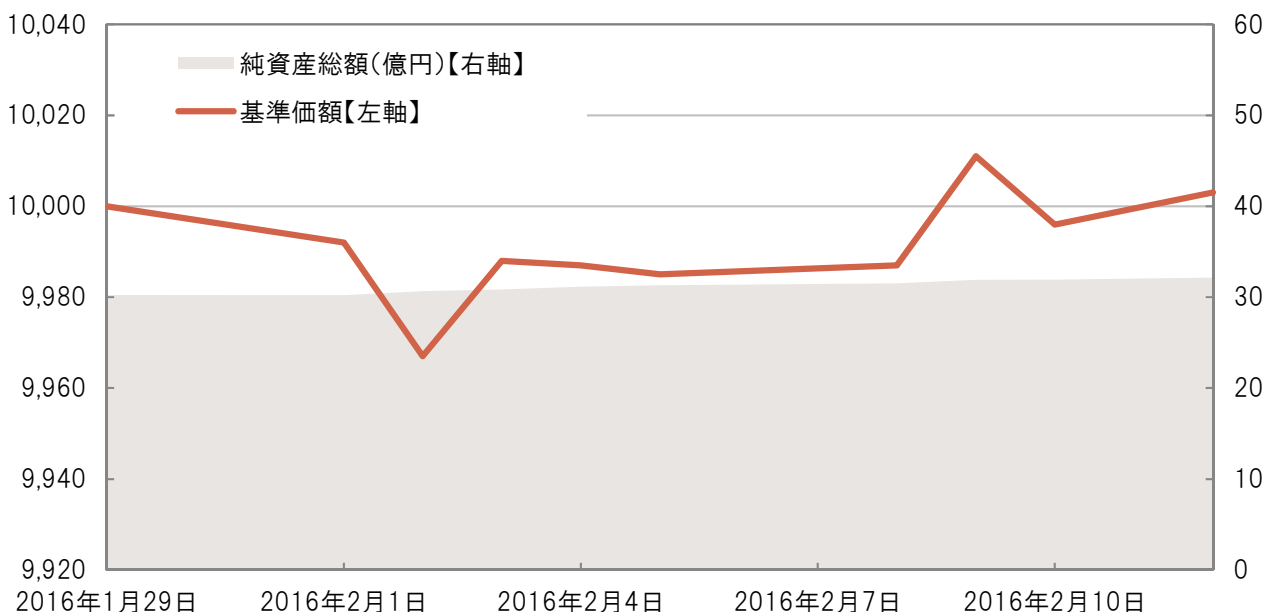
本レポートでは、足下の市場環境と2016年1月29日に設定された「世界プレミア企業債券ファンド(為替ヘッジあり)〈愛称:プレミア・コレクション〉」のポートフォリオの状況および今後の見通し・運用方針についてお伝えいたします。今後も引き続き、当ファンドをご愛顧賜りますようお願い申し上げます。

### 当ファンドの基準価額 (2016年2月12日)

**基準価額**(1万口当たり)

**10,003円**

### 当ファンドの基準価額の推移 (2016年1月29日～2016年2月12日)



- ・基準価額は設定日を10,000として指数化しています。
- ・基準価額は信託報酬控除後の値です。

■ 上記は過去の実績・状況です。本見通ししない分析は作成時点での見解を示したものであり、将来の市場環境の変動や運用状況・成果を示唆・保証するものではありません。また、税金・手数料等を考慮していません。

## 世界プレミア企業債券ファンド(為替ヘッジあり)

## 2016年初来の市場環境とポートフォリオ構築の状況

2016年初来の金融市場では、世界的に株式市場が調整の動きとなるなど、リスク回避の動きが強まっています。このような市場環境の下、社債市場においては、信用力が相対的に高い債券が値上がりする一方で低い債券が値下がりするなど、信用力により値動きに違いがみられています。

設定日前の1月22日には、信用格付機関の一つであるムーディーズ社は、原油・ガスセクター発行体120社、資源セクター(原油・ガスセクター以外)発行体55社の債券の格付けを引下げの方向で見直す発表、その後資源セクターの一部の銘柄で実際に格下げが行われました。また、2月9日には、「赤字決算を発表したドイツ銀行が発行するCoCo債(偶発転換社債)の利払いが滞るリスクがある」とのレポートが発表されたことで、銀行セクターの債券についても不透明感が浮上しました。

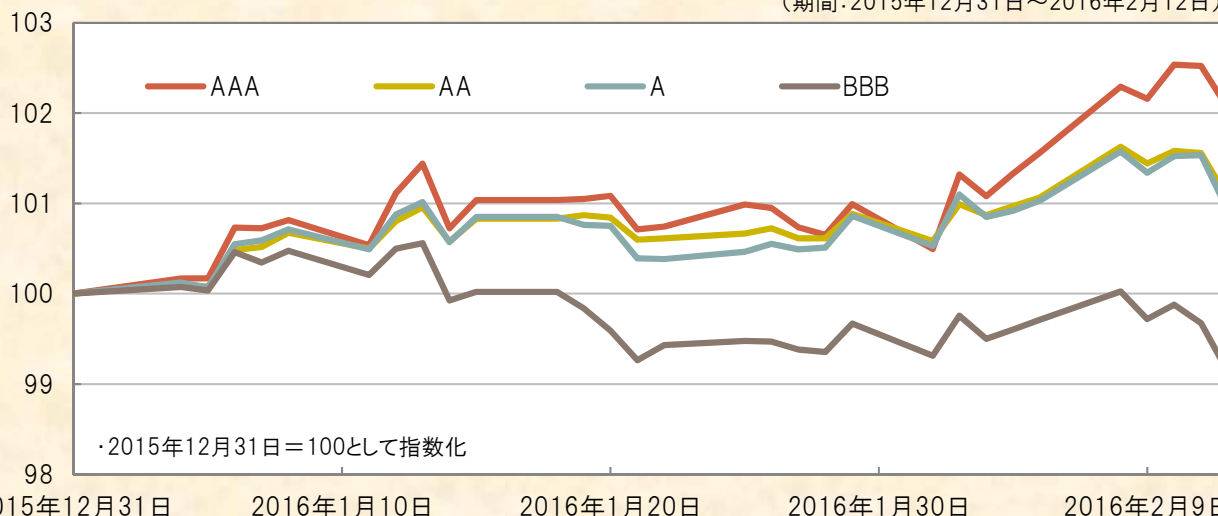
以上のような市場環境の中、当ファンドでは、先進国のプレミア企業※およびその関連会社が発行する投資適格債券の中から信用力が相対的に高い銘柄を厳選して組み入れるとともに、市場金利の変動による影響を抑える観点から残存年数に配慮して、ポートフォリオの構築を行いました。その結果、2月12日時点の組入比率は92.8%(マザーファンド、純資産総額対比)となっています。なお、信用力および金利変動リスクに配慮した銘柄選定を行ったことから、マザーファンドの最終利回りは2.1%となりました。

※プレミア企業とは、世界的に活躍し、広く認知された商品やサービスを持ち、財務体質が健全で、安定的な成長が期待できる企業をいい、関連会社とは、原則として資本関係を有し、プレミア企業の事業推進の一端を担うために設立された会社等のことをいいます。

(出所)FILペンションズ・マネジメントのコメントをもとに三菱UFJ国際投信作成

## 格付け別の為替ヘッジ付投資適格社債(円ヘッジ・円ベース)のパフォーマンス推移

(期間:2015年12月31日~2016年2月12日)



・上記グラフは指数を使用しており、ファンドの運用実績を示すものではありません。指数については、【本資料で使用した指数について】をご覧ください。計測期間が異なる場合は、結果も異なる点にご注意ください。

(出所)パークレイズ社のデータより三菱UFJ国際投信作成

## 今後の見通し・運用方針

米国経済は緩やかな回復基調が継続する見通しですが、その成長は緩やかなものにとどまり、インフレ率は抑制された水準で推移する見通しです。したがって、米連邦公開市場委員会(FOMC)による政策金利の追加引き上げはあったとしても、極めてそのペースは緩やかなものとなると想定しています。また、欧州においては、デフレ懸念が台頭している状況にあり、欧州中央銀行(ECB)による追加的な金融緩和と拡大が期待されます。このような状況の下、先進国の企業は保守的な財務政策をとっており、デフォルト率は低位で推移することが見込まれます。

リスク回避の動きが強まっている市場環境下、現時点では信用リスクや金利変動リスクを抑えることを重視してポートフォリオを構築しておりますが、今後投資家心理が落ち着きを取り戻す局面では、利回り等の収益面をより重視していく方針です。

(出所)FILペンションズ・マネジメントのコメントをもとに三菱UFJ国際投信作成

■上記は過去の実績・状況です。本見通し・分析は作成時点での見解を示したものであり、将来の市場環境の変動や運用状況・成果を示唆・保証するものではありません。また、税金・手数料等を考慮していません。

## 世界プレミア企業債券ファンド(為替ヘッジあり)

(2016年2月12日現在)

## 当ファンドが投資する世界プレミア企業債券マザーファンドの状況

## ポートフォリオ特性

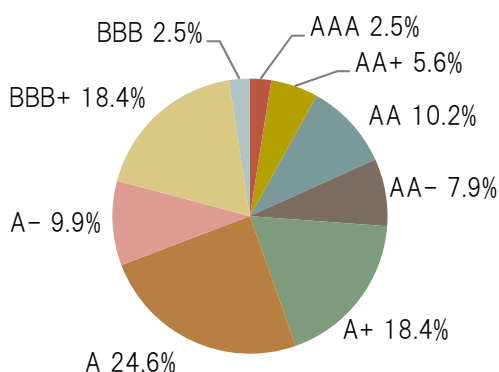
最終利回り* <sup>1</sup> (%)	2.1
デュレーション* <sup>2</sup> (年)	4.6
平均格付け* <sup>3</sup>	A
銘柄数	76

\*1 最終利回りは、原則として個別債券等における満期利回り(個別債券を償還日まで保有した場合の複利利回り)と、コール利回り(個別債券におけるコール(早期償還)日に早期償還されると仮定した場合の複利利回り)のうち、最も利回りが低いものを採用し、それらを加重平均したものです。

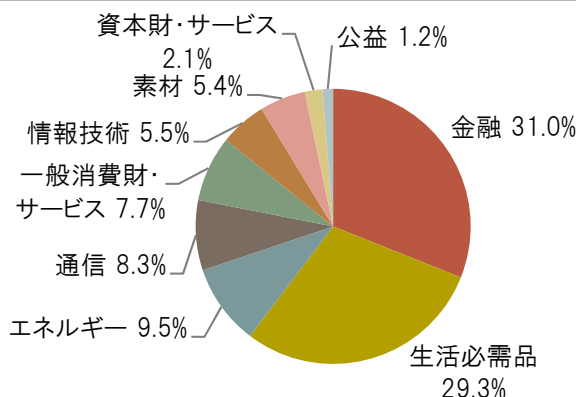
\*2 デュレーションは、原則として上記最終利回りを算出する際の償還日を用いて算出しています。デュレーションは、債券価格の弾力性を示す指標として用いられ金利の変化に対する債券価格の変動率を示します。

\*3 平均格付けとは、基準日時点で当該ファンドに組み入れられている有価証券に係る信用格付けを加重平均したものであり、当該ファンドに係る信用格付けではありません。

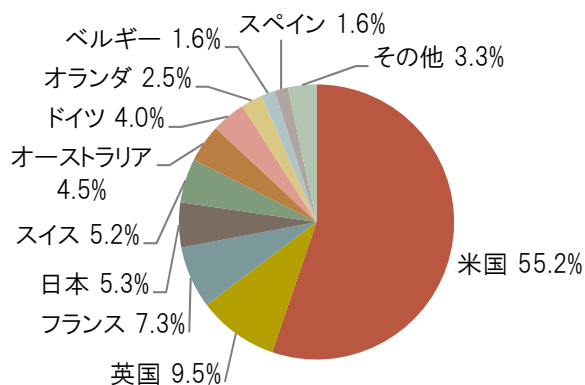
## 格付け構成比



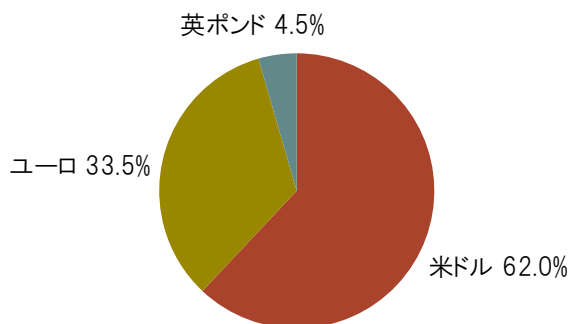
## 業種別構成比



## 国別構成比



## 通貨別構成比



・上記各構成比は現物債券評価額に対する割合です。

## 組入上位10銘柄

発行体名	国名	業種	格付け	組入比率(%)
1 マイクロソフト	米国	情報技術	AAA	2.3
2 プロクター・アンド・ギャンブル・カンパニー	米国	生活必需品	AA-	1.9
3 アップル	米国	情報技術	AA+	1.9
4 GE キャピタル ヨーロピアン ファンディング	米国	金融	AA+	1.8
5 ゲーグル	米国	通信	AA	1.8
6 ペプシコ	米国	生活必需品	A+	1.8
7 トヨタ モーター クレジット	米国	一般消費財・サービス	AA-	1.8
8 DH ヨーロッパ ファイナンス	米国	生活必需品	A	1.7
9 ザ コカ・コーラカンパニー	米国	生活必需品	AA	1.7
10 サノフィ	フランス	生活必需品	AA	1.7

・格付けは原則、S&P社、Moody's(ムーディーズ・インベスターズ・サービス)社、Fitch(フィッチ・レーティングス)社の格付けを採用しています。複数社の格付けがある場合は、原則として高い方を採用しています。

・上記組入比率は純資産総額に対する割合です。

・四捨五入の関係で上記の数値を合計しても100%にならないことがあります。

■上記は過去の実績・状況です。本見通しなしい分析は作成時点での見解を示したものであり、将来の市場環境の変動や運用状況・成果を示唆・保証するものではありません。また、税金・手数料等を考慮していません。



## 世界プレミア企業債券ファンド(為替ヘッジあり)〈愛称:プレミア・コレクション〉

## ファンドの特色

## 【ファンドの目的】

日本を含む先進国のプレミア企業およびその関連会社が発行する債券等を実質的な主要投資対象とし、利子収益の確保および値上がり益の獲得をめざします。

## 【ファンドの特色】

- 1、日本を含む先進国のプレミア企業およびその関連会社が発行する債券等に投資します。
- 2、安定的な運用を行うため、主要投資対象を日本を含む先進国の投資適格債券とし、残存年数等に配慮した運用を行うとともに、為替ヘッジを行います。  
〈ポイント1〉日本を含む先進国の投資適格債券に投資します。  
〈ポイント2〉市場金利の変動による影響を抑えるため、残存年数等に配慮した運用を行います。  
〈ポイント3〉為替ヘッジを行うことにより、為替変動リスクの低減をはかります。
- 3、債券等の運用にあたっては、FILペンションズ・マネジメントに運用指図に関する権限を委託します。
- 4、年1回の決算時(1月14日(休業日の場合は翌営業日))に分配を行います。  
・原則として、基準価額水準、市況動向等を勘案して分配を行います。ただし、分配対象収益が少額の場合には、分配を行わないことがあります。また、将来の分配金の支払いおよびその金額について保証するものではありません。

市況動向および資金動向等により、上記のような運用が行えない場合があります。

## 投資リスク

基準価額は、金利変動による組入公社債の価格変動や為替相場の変動等により上下します。また、組入有価証券の発行者の経営・財務状況の変化およびそれらに関する外部評価の影響を受けます。したがって、投資信託は預貯金と異なり、投資元本が保証されているものではなく、基準価額の下落により損失を被り、投資元本を割り込むことがあります。運用による損益はすべて投資者の皆様に帰属します。主な変動要因は、金利変動リスク、信用リスク、流動性リスク、為替変動リスクです。上記は主なりリスクであり、これらに限定されるものではありません。くわしくは、投資信託説明書(交付目論見書)をご覧ください。

## 本資料で使用した指数について

・投資適格社債(格付け別のサブインデックスを含む):パークレイズ米国社債インデックス  
パークレイズ米国社債インデックスとは、パークレイズが算出する米ドル建ての投資適格社債の値動きを表す指数です。  
パークレイズ・インデックスは、パークレイズ・バンク・ピーエルシーおよび関連会社(パークレイズ)が開発、算出、公表をおこなうインデックスであり、当該インデックスに関する知的財産権およびその他の一切の権利はパークレイズに帰属します。

## 本資料に関するご注意事項

■本資料は三菱UFJ国際投信が作成した情報提供資料であり、金融商品取引法に基づく開示資料ではありません。／投資信託をご購入の場合は、販売会社よりお渡しする最新の投資信託説明書(交付目論見書)の内容を必ずご確認のうえ、ご自身でご判断ください。■本資料の内容は作成時点のものであり、将来予告なく変更されることがあります。■本資料は信頼できると判断した情報等に基づき作成しておりますが、その正確性・完全性等を保証するものではありません。■投資信託は、預金等や保険契約とは異なり、預金保険機構、保険契約者保護機構の保護の対象ではありません。／銀行等の登録金融機関でご購入いただいた投資信託は、投資者保護基金の補償の対象ではありません。■投資信託は、販売会社がお申込みの取扱いを行い委託会社が運用を行います。

## ファンドの費用

## ◎投資者が直接的に負担する費用

購入時手数料	ありません。
信託財産留保額	ありません。

## ◎投資者が信託財産で間接的に負担する費用

運用管理費用(信託報酬)	日々の純資産総額に対して、 <b>年率1.2312%(税抜年率1.14%)</b> をかけた額 1万口当たりの信託報酬:保有期間中の平均基準価額×信託報酬率×(保有日数/365) ※上記の計算方法は簡便法であるため、算出された値は概算値になります。
その他の費用・手数料	以下の費用・手数料についてもファンドが負担します。 ・監査法人に支払われるファンドの監査費用 ・有価証券等の売買時に取引した証券会社等に支払われる手数料 ・有価証券等を海外で保管する場合、海外の保管機関に支払われる費用 ・その他信託事務の処理にかかる諸費用等 ※上記の費用・手数料については、売買条件等により異なるため、あらかじめ金額または上限額等を記載することはできません。

※運用管理費用(信託報酬)および監査費用は、日々計上され、毎計算期間の6ヵ月終了時、毎決算時または償還時にファンドから支払われます。  
※上記の費用(手数料等)については、保有金額または保有期間等により異なるため、あらかじめ合計額等を記載することはできません。なお、ファンドが負担する費用(手数料等)の支払い実績は、交付運用報告書に開示されていますのでご参照ください。

## 課税関係

課税上は、株式投資信託として取扱われます。個人投資者については、収益分配時の普通分配金ならびに換金時および償還時の譲渡益に対して課税されません。NISA(少額投資非課税制度)およびジュニアNISA(未成年者少額投資非課税制度)の適用対象です。税法が改正された場合等には、変更となる場合があります。

ご購入の際には、必ず「投資信託説明書(交付目論見書)」をご覧ください

商号	登録番号等	加入協会
株式会社 三菱東京UFJ銀行	登録金融機関 関東財務局長(登金)第5号	日本証券業協会／一般社団法人金融先物取引業協会／ 一般社団法人第二種金融商品取引業協会
株式会社 三菱東京UFJ銀行(委託金融商品取引業者 三菱UFJモルガン・スタンレー証券株式会社)	登録金融機関 関東財務局長(登金)第5号	日本証券業協会／一般社団法人金融先物取引業協会／ 一般社団法人第二種金融商品取引業協会
三菱UFJモルガン・スタンレー証券株式会社	金融商品取引業者 関東財務局長(金商)第2336号	日本証券業協会／一般社団法人日本投資顧問業協会／ 一般社団法人金融先物取引業協会／ 一般社団法人第二種金融商品取引業協会

設定・運用は…三菱UFJ国際投信株式会社  
金融商品取引業者 関東財務局長(金商)第404号  
加入協会:一般社団法人投資信託協会  
一般社団法人日本投資顧問業協会